

2026年 新年の挨拶

**JABM会長
東英工業(株) 取締役
有泉 豊徳**



皆様、新年明けましておめでとうございます。

本日午前中に、理事会・評議員会にて有意義な意見交換が行われた事を報告させていただきます。

さて、年頭のご挨拶ですが、世界に目を向けますと……

2025年6月24日にイスラエルとイランの停戦合意が成立したことでひとまずの終結致しましたが、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化して和平交渉の難航に加え、**2026年1月3日**には米軍がベネズエラの首都カラカスで軍事作戦を行い、同国のニコラス・マドゥロ大統領とその妻を拘束したと発表されました。

ドナルド・トランプ米大統領はフロリダの私邸「マール・ア・ラゴ」での記者会見で「適切な政権移行」ができるまで今後はアメリカがベネズエラを「運営する」と述べています。

2026年1月9日ANN News：アメリカは「デンマーク自治領グリーンランドを買い取りたい」との報道あり。

1月7日 ホワイトハウスはトランプ大統領が意欲を示すデンマーク自治領のグリーンランドの領有に向け「アメリカ軍の活用も選択肢にある」と表明しました。グリーンランドは地球温暖化による氷床融解で地下資源へのアクセスが容易になり資源開発が安価になるのが要因です。

ロシアによるウクライナ侵攻や、アメリカのベネズエラ運営は、どちらも大国による地下資源の独占化が目的ではないかと勘繰りたくもなります。

2026年は中国希土類の規制強化と日本への渡航抑制もありますが、中国外交部は**2025年11月3日**、2025年末を期限としていた日本の一般旅券保持者に対するビザ免除措置については、2026年12月31日まで延長すると発表されました。

本年の**JABM国際会員**は**15企業**あり、内14は中国の会員企業ですが現在退会などの兆候も無く安堵しております。

JABM全体では**2025年度末の総会員数は118**です。前年同期は120でした。(内訳：入会 +3, 退会 -5 総計 -2)

JABMニュースとしては、**2025年9月**にソフト磁性材料分野で「**圧粉磁心試験方法ガイドブック**」の頒布を開始致しました。磁気特性を評価する為の基本的な理論、B-H曲線、透磁率、鉄損、直流重畳特性、周波数特性など、測定装置の構成、測定時の注意点・実務を解り易く解説しています。

既に**2019年2月**にハード磁性材料分野で「**ボンド磁石試験方法ガイドブック**」が更新頒布されています。磁石の着磁方法、試験方法などカラー図面を取り入れ、解り易く解説されています。

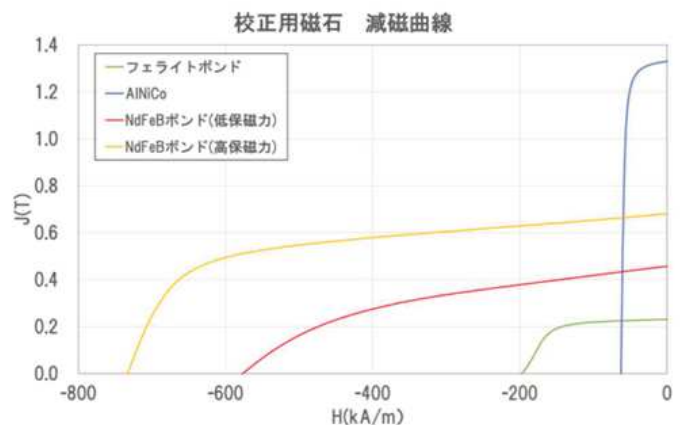
2025年12月には磁気測定に必要とされる**校正用磁石 Ver.4(50set)**の**製作・頒布を開始**致しました。校正用磁石セットは実際の磁石評価で使用されるヒステリシス測定装置の磁束密度(Y軸)、保磁力(X軸)を、同梱4種の磁石をそれぞれ測定して残留磁束密度や保磁力の測定結果をそれぞれ比較することで測定値の相関補正が可能となります。

前回Ver.3迄で頒布された校正用磁石セット(約φ10mm、約φ7mm)数は150setとなりました。

校正用磁石セットは電磁石に挟み込み磁気測定を行うので、同梱の磁極間隙に装着する約φ7mm厚スペーサ2個の使用を推奨しています。

実際の繰り返し使用による校正用磁石形状の変化に伴い磁石特性値の差異変動も使用方法によっては発生致します。

ご使用頻度にもよりますが2~3年で校正用磁石セットを更新される頒布先もあり**更新需要も多い**ため、JABM会員各社の強いご要望を受けて今後も**製作・頒布を継続**する所存でございます。



まとめ：

前述の様に激しく展開する国際情勢ですが、**2026年度も希土類産業の経済的重要性を考慮しながらJABM会員は相互協力を行い、発展**できる年に致しましょう。